ご挨拶

理事長
本多 英明

平素より愛知信用金庫に格別のご愛顧ご支援を賜り誠に有難うございます。

本年も、皆様方に当金庫の経営方針や最近の業績、営業内容をより深くご理解していただくため「AISHIN REPORT 2022」を作成いたしましたので、ご高覧いただければ幸甚に存じます。

国内経済は、新型コロナウイルス・オミクロン株の感染者数減少に伴い、活動制限は緩和され回復基調が窺えるものの、新たな変異株の登場や半導体不足等によるサプライチェーンへの影響とウクライナ情勢に端を発した資源価格の高騰や円安の進行など、景気下振れリスクは排除できず、国内経済への影響も長期化する恐れが強まっています。

金融政策においては、FRB（米連邦準備理事会）が大規模緩和政策の転換に乗り出す中、日銀は金融緩和と超低金利政策の継続を維持する方針としており、地域金融機関を取巻く経営環境は依然厳しく、収益力維持向上への改革が喫緊の課題となっております。また、マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策、サイバーセキュリティ対策など、様々なリスク対応が金融機関に求められており、リスク管理の強化も共通した課題となっております。

当金庫の主要顧客である中小・小規模事業者にあっては、新型コロナウイルス感染症が発生から3年目を迎えるものの、依然として波状的な感染拡大は続いており、業績悪化が顕著に現れてきております。当金庫においては、顧客事業者への資金繰り支援の継続を主要施策に掲げ、全力を挙げて必要な資金供与に努めたことにより、大勢の顧客事業者においては、資金繰りを要因とした経営危機は回避できたものと考えております。

令和4年度は、引続き顧客事業者の方々への資金繰り支援に注力すると共に、新中期経営計画「CONNECT～あいしんから繋げよう！～」に掲げた「課題解決に向けての「伴走型支援」」の実践により、取引先の財務改善と経営改善に資する本業支援等を、外部支援機関や専門家との連携をより強化し、顧客支援の一段の深化を図る方針です。また、顧客事業所の職域も包摂した営業活動によって、地域顧客との長期継続的な取引関係を構築し、地域住民、事業先とその職域の人々から強い支持と信頼を獲得することにより、適正収益を確保するビジネスモデルの確立に努めてまいります。

何卒、今後とも会員各位の一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年7月